

突然の水回りのトラブルの基礎知識

～悪質な水道工事業者の被害に遭わないために～

■「住まいの水回りのトラブル」は突然やってきます！

「トイレが詰まって流せない」「台所下の収納を開けたらビショビショに濡れている」「部屋の天井や壁から水が漏れてきた」など住まいの水回りのトラブルは、昼夜にかかわらずある日突然やってきます。そんな時、あなたならどうしますか？

予告なく突然発生する水の問題に備え「何かあったら相談できる会社を事前に何社か決めておくから我が家は大丈夫！」というようなご家庭はほとんどありません。なぜなら水の問題は10数年に1回とか、数年に1回発生するようなケースも多く、今まで水の問題を経験したことがない方もいらっしゃるからです。



■「暮らしのレスキューサービス」の一部の事業者による悪質商法で、多くの消費者被害が発生しています！

「暮らしのレスキューサービス」とは、専門的な知識や技術がないと対処できないような、毎日の生活のなかで起きる様々な困った出来事を緊急で出動し解決してくれるサービスです。

最近ではこれまでのマグネット広告やチラシ投函に加えて、インターネットの普及に伴い、スマートフォンやパソコンなどを利用した勧誘がとて増えています。

悪質商法の手口としては格安な基本料金表示で勧誘しますが、実際に訪問した時には基本料金にとどまらずに、過度に不安をあおるようなセールストークを用いて不要な工事を強要したり、高額な商品への交換をすすめたりして法外な代金を請求してくるなどです。こうした悪質な水道工事業者が全国で急増し、社会問題化しています。

生活の緊急事態につけ込む一部の悪質な「暮らしのレスキューサービス」の事業者は、水回りのトラブルだけではなく、鍵のトラブルや害虫駆除、レッカーサービスなど、様々な業種で広がっています。

暮らしのレスキューサービス「サービスごとの相談件数」



資料：国民生活センター（2018年から2022年度受付、2023年2月28日までのPIO-NET登録分）

■おもわず電話したくなる！こんな広告のキャッチフレーズには要注意です！

よくある例

基本料金
250円(税込)~

WEB割 **3,000円** 割引！

検索サイトへキーワード（例えばトイレ詰まりなど）を入力し、検索結果で上位に表示された会社は、広告料金を支払うことで検索結果の上位に表示されています（広告主は左上にスポンサーと表記されています）。そのため、上位に表示された会社が必ずしも信頼できる会社であるとは限りませんので、注意が必要です。

■ 被害にあわないためには！

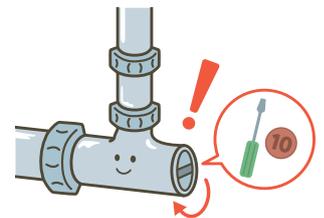
トラブルが発生してから慌てて会社を探すのではなく、常日頃から地元の信頼できる会社を探しておくことが大切です。引っ越したばかりで信頼できる会社が見つからない場合などは移転先の水道局、下水道局へ相談してください。

また、訪問した業者の料金やサービスに納得できない場合は、その場で契約をせずに別の業者に相見積りを依頼し、比較検討することも重要です。万が一、契約や解約に際し、会社とトラブルになった場合や不安を感じる場合には、お住まいの自治体の消費生活センターへ相談しましょう。いったん契約の申し込みや契約の締結をした場合でも、一定の期間であれば無条件で契約の申し込みを撤回したり、契約を解除したりできる場合もあります。

■ 水が流れっぱなしで止まらない！こんな時、自分でできる応急処置は？

トイレ、洗面所、台所などの止水栓をマイナスドライバーもしくは硬貨などで時計回りにまわして水を止めましょう（固着して固くなって回らない止水栓を無理に回そうとすると配管を破壊し漏水による建物への被害を大きくする可能性がありますのでご注意ください）。

止水栓が見つからない場合や止水栓があっても固くて回らない場合は、水道の元栓を閉めてください。



■ 水道メータボックスや元栓ってどこにあるの？

戸建て	元栓は原則として道路境界線に最も近接した屋外の敷地部分の水道メータボックス内にあります。フタには「量水器」とあり青色や灰色です。
マンション	多くが玄関ドア横のパイプシャフト（給水管等をまとめて通す空間）内にガスメータと一緒に収納されています。
アパート	1階に複数住戸分のメータボックスが並んで地面に埋め込まれています。駐車場や共有スペースにある場合もあります。

元栓を閉めるときは時計回り、開けるときは反時計回りに回しましょう。

また、平常時にご自宅の水道メータや元栓がどこにあるかを予め確認しておくことで、水のトラブルが発生しても慌てずに対処することができます。

※水道メータの位置が分からない場合は、水道局お客さまセンターへお問い合わせください。

■ 自分でできる簡単な漏水チェック方法

水道料金が前回の2倍になった！こんな時は家のどこかで漏水している可能性があります。漏水は日ごとに多くなり、貴重な水が無駄になるばかりでなく水道料金も高額になります。



- 台所や浴室の蛇口からポタポタと水が漏れている。
- トイレの便器にチョロチョロと水が流れ続けている。
- お庭や車庫などの屋外、壁などが濡れている。
- 給湯器本体や配管の継ぎ目からポタポタと水が漏れている。
- 水を使っていないのに水道メータのパイロットが回転している。



水を使用していない状態で水道メータのパイロットが回転する時は漏水しています

漏水は早期発見と早期修繕が大切です。

執筆 東京都管工事工業協同組合 理事 メンテ委員長 永島英俊

東京都管工事工業協同組合（昭和6年創立）が運営する「総合設備メンテナンスセンター」は、東京23区内の水まわりトラブルを24時間365日体制で受け付け修繕をしています。

電話 0120-850-195 ホームページ <https://www.tmc24h.jp/>